

は児童・生徒自らが危険を回避して適切な行動がとれるようセーフティー教室や防犯教育を実施し

交通弱者のため

福祉交通網の導入を

沼崎満子 議員

質問 高齢者等交通弱者が普通の乗用車等で気軽に移送サービスが受けられることが望まれるが、福祉交通網整備の方向性としてどう考えているか、またその取り組みは。

市長 有償移送サービスは地域で支え合う福祉交通網の理念に沿うもので、その許可条件の一つに自治体、タクシ業者による運営協議会での協議、審査が必要となり、今回都下二市等による協議会設立に参加した。

質問 やなぎ通りの大東京信用組合前に横断歩道があるが、その斜めの飲食店方面に向かう歩行者、自転車等の横断が多く非常に危険である。この地点に横断歩道を設置できないか。

やなぎ通りの西友交差点

横断歩道の設置を

中森富久 議員

質問 やなぎ通り改良前は羽村寄りに横断歩道があり、歩行者用信号機が設置されていたが、やなぎ通り改良工事と同時



▲やなぎ通りの西友交差点



▲移送サービスを行う介護タクシー

があり、西友の立体駐車場に入る車の関係で現況になったが、横断歩道設置は公安委員会の指定が必要なので、福生警察署を通じ協議していききたい。

人体に有害なアスベスト

市内での状況は

大野悦子 議員

質問 健康被害を起こすアスベスト使用の状況を調査しているのか。広報等で情報の周知徹底の考えは。アスベスト使用建物の解体等届け出指導、市民等への暴露防護策と防護補助、国・都からの指導等の状況はどうか。

市長 平成八年以前の建築物を、国の通達に基づき調査、公表し不安を解消したい。一般家屋は現在調査していないが相談には対応し、今後も広報等で情報提供していく。



▲アスベストの標本

歴史的遺産

熊川分水の保全・整備を

森田昌巳 議員

質問 百年に及ぶ歴史の熊川分水は都市化などで暗渠化、石積みの崩壊が進んでいるが、どのように保存・整備をしていくのか。またボランティア団体に里子に出すように働きかけ、市民へのPRもしてはどうか。

市長 民有地が多く市にできることには限界がある。できることから取り組むため熊川神社前とどうどう橋付近をモデル



▲熊川神社付近の熊川分水

アによる管理については都財務局に相談し、史跡看板、パンフレット作成等PRも考えていきたい。

にもなる。昨年の一般質問以後の進捗はどうか。

パソコン学習

小・中学校での状況は

阿南育子 議員

質問 IT教育の必要性が言われる情報化社会における小・中学校の目標と取り組みはどうか。また、パソコンの整備状況と学習内容、先生への研修はどうなっているか。

教育長 情報活用能力の育成等を目標に掲げ、教員への研修、授業へのコンピュータの取り入れ等を行っている。小学校に二台、中学校に四台、他に教職員用、図書室等にコンピュータを設置、さらに増設予定で、活用



▲パソコンを使用した授業（第1中学校）

病児病後児保育

その後の進捗状況は

小野沢久 議員

質問 保育園には子供が熱を出すと、治るまであずけられず、その間は仕事を休まなければなら

ない。安心して仕事ができる、子育てのしやすい環境として病後児保育は大切であり、少子化対策

は小学校で調べ学習中心、中学校は多岐にわたる。教職員の操作能力は各種研修により高まっている。



▲市立つくし保育園で遊ぶ園児たち

学力テストの結果

基礎学力の向上策は

加藤育男 議員

質問 都内四九区市の学力テストで小学五年の四八位、中学二年の四七位を踏まえ、その分析と考え方、対処法は。習熟度別授業導入への生徒・保護者の感触はどうか。

教育長 結果を真摯に受けとめ分析した対応策は、授業時数の確保と改善、教師の指導力向上、基本的生活習慣の定着で、一層健全育成推進に努めたい。最近の調査で習熟度別授業増に大半の保護者が賛成し、また少



▲指導補助員がいる授業（第3小学校）

騒音地域変更の通告

その対応は

遠藤洋一 議員

質問 横田基地に関する騒音地域及び騒音世帯を縮小するための意見照会があったが、今後の動向が不明なままでの縮小

は問題が残ると思うが、市長の見解を伺いたい。市長 東京都から住宅防音工事の見直しについての意見照会があり、検

ホームページで公開しています。

福生市議会の会議や委員会の日程、会議の結果等議会の情報を福生市のホームページからご覧いただけます。

福生市のホームページアドレス
(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>)